

お詫びと訂正

2025 年版 大学赤本シリーズ『467／名城大学（情報工学部・理工学部・農学部・薬学部）』におきまして、内容の一部に誤りがございました。訂正箇所をお知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

教学社編集部

記

2024 年度 情報工・理工・農学部：A・F・K 方式 p. 144、p. 145

国語 大問 1 問 2 G 解答・解説

☐ 誤 解答：①

☒ 正 解答：②

解説：Gは、「医療技術は不自然さを通して自然を回復しようとする試みだともいえる」と「自己決定という原理が繰り返し登場する」という、一見関係がないように思える二つの内容には関係があるということを述べている箇所であるため、②が適当。

2024 年度 情報工・理工・農学部：A・F・K 方式 p. 141

国語 大問 4 2 および 3 解答・解説

☐ 誤 解答：2—2 3—2

☒ 正 解答：2—1 3—1

解説：2、「まもなく 21 世紀になろうという年」とは図 1 の「1999 年」のことだと判断できる。この年に「人口十万人当たりの患者が増え」たかどうかは、図 1 だけでは読み取りが難しいが、【文章 A】第四段落に「一九八〇年代……結核罹患率低下が鈍化」「一九九九年には『結核緊急事態宣言』が発せられ」とあることから、図 1 の「1999 年」においてわずかな増加が示されていると判断でき、合致と判断する。

3、【文章 B】の第一段落の内容と合致している。

以上